

〔2月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。  
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本



北村白琉先生

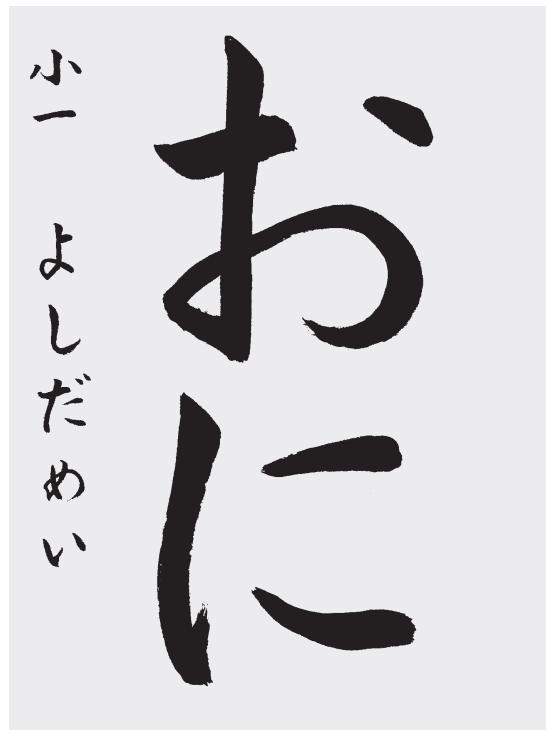
幼・小学1年参考手本



名越蒼竹先生



白石和楓先生



山口仙草先生

〔2月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

小四 小早川陽月

切 手

稻垣小燕先生

小学3年参考手本

ち 金 づ

小三  
内田拓

種谷萬城先生

※P4の解説をご覧ください

小四 ひろたのぞみ

あすか

広瀬舟雲先生

小三 高井るな

土 星

柳橋香仙先生

〔2月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

小六 松本里央

宣言

島田白露先生

小学5年参考手本

ヨクル

小五  
田中小春

佐藤菜扇先生

岡本通子

小六

下冰占

小林琴水先生

小五  
二木洋

最初

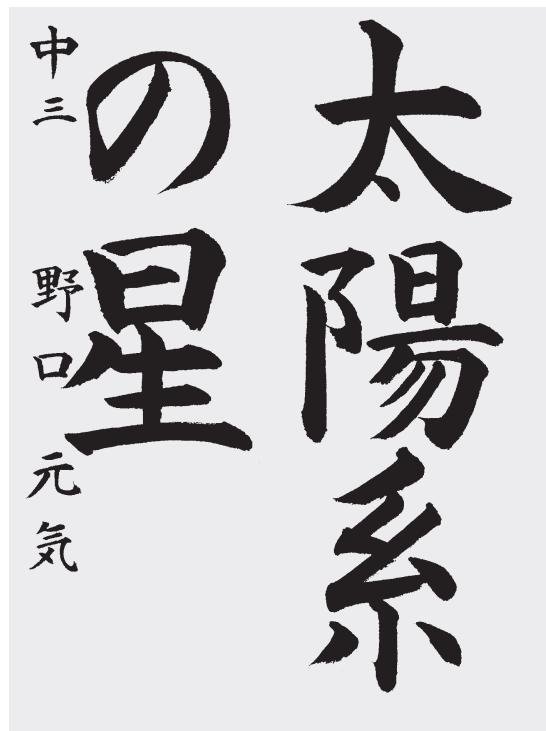
坂本素雪先生

〔2月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

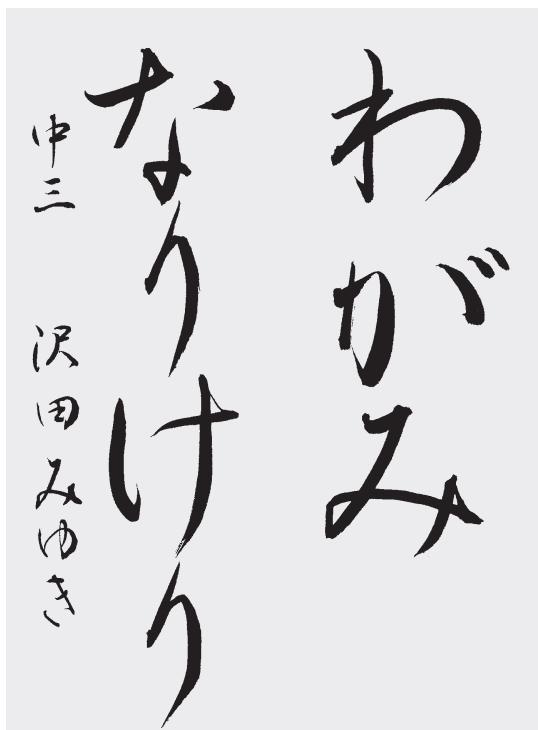
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



辻元大雲先生



小竹石雲先生



石井明子先生



千葉蒼玄先生

# 毛筆参考手本解説(1)

1年

な (じがん)  
奈なな

な 長い  
に 短い  
とめる

ね (じがん)  
ね (じがん)

な (じがん)  
な (じがん)

2年

金 (ひろく)  
金 (ひろく)

金 (ひつじゅん)  
金 (ひつじゅん)

ち (じがん)  
ち (じがん)

土 (ひつじゅん)  
星

○ 許容  
はなす

切手 (角度に気をつける)

一七切  
一二三手  
折れ

中心  
あすか



\*最近の小学校では上の字と下の字の筆順を大切にするための教材が出ています。それを参考にしました。

かあす

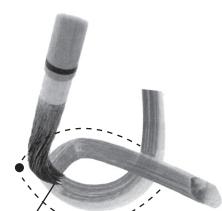
\*上記のようないくつかの形式で書いてあります。構いません。

(字源)

安ああ すすす

\*ほ先の動きと点画のつながりに気をつけて書く

一一一  
一一  
一一  
(ひつじゅん)



軽く筆を  
うかせて、  
ゆっくり  
と進める。

4年

ヨク 少し右上がり  
ンレ

ノン (接し方に注意)

久ク  
礼礼レ

ノ (字源)  
与ヨ

最初

(筆順)

ノ 旦 尸 尸 最  
・ ネネネ 初 初

(許容)

耳 はなす  
又 止め

接する

衣 方向

ノ はなす

・ ネネネ 初 初

5年

# 宣言

筆順

宀 宣宣宣宣

一 言言言言

許容

方向  
下 日 はなす 方向

やさしい行書

# 太陽系の星

陽 星

あける

示 → 示  
点の変化

觀察

花さそふ  
嵐の庭の雪ならで  
ふりゆくものは我が身  
なりけり

現代語訳

桜の花を誘って吹き散らす嵐  
の日の庭は、桜の花びらがま  
るで雪のように降っているが  
実は古いさらばえて古(ふる)  
ゆくのは私自身なのだな。

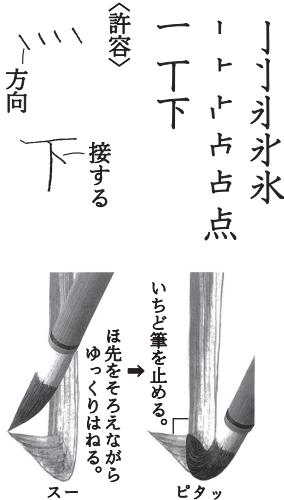
わがみ  
なりけり

け わ な  
ひろく ひろく な  
（作者）  
入道前太政大臣

## ひらがなの字源 (340)

源字	字形
け	り
計	利
け	奈
け	美
か	加
わ	和
か	妙
み	み
か	か
わ	わ

\* 源字については、異字体から変遷し  
たものに\*印を付して()にその字体  
を記した。  
\* 字形は古筆から抽出した。上段には  
源字に近い草仮名を配し、中・下段  
にはその変遷過程等を配した。



点からの連続

シ→レ

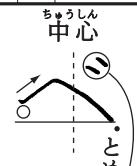
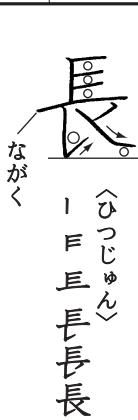
[2月7日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 2 年

幼・小 学 1 年

支部名	う		は	か	つ
段・級	、		か	つ	
学年	長	さ	て	し	ら
名前	高	や	し	ら	べ
	糸川	一	ら	べ	よ
	一生				

支部名	ら	い	お	に	を
だん・きゅう	ま	し	お	い	お
がくねん	た	。	い	い	い
一					
なまえ					



よこ分間をあけすぎない  
文字の中心線にちゅうい

『しゃべる』  
「長」「高」をただしくととのえましょう。

『おに』  
ひらがなをていねいにかぎましょう。  
『おに』  
ひらがなをていねいにかぎましょう。

ら は を

とめ とめ とめ

ひらがなを上へつづけるきもちで

ら は を

とめ とめ とめ

ひらがなを上へつづけるきもちで

ら は を

とめ とめ とめ

ひらがなを上へつづけるきもちで

[2月7日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

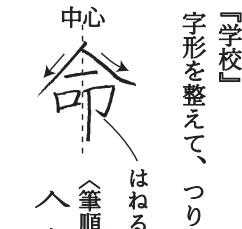
支部名	り	書	学	校	一	生	け	ん	命	に
段・級	ま	い	校	で	一	け	ん	命	に	
学年	し	た	で	一	け	ん	命	に		
四	.	た	で	一	け	ん	命	に		
名前	松島奈央	文	字	家	に	け	ん	命	に	
		を	を	に	か	ん	命	に		
		か	か	に	か	ん	命	に		
		ざ	ざ	に	ざ	ん	命	に		



\*はらいの方向に注意して  
左右のつりあいをとる。

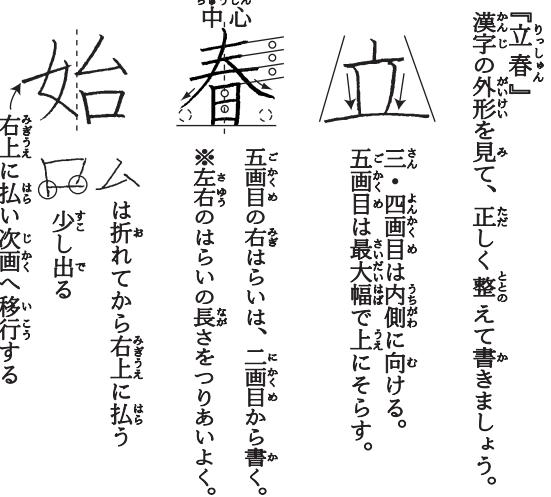


長く  
間隔に注意



（筆順）  
へへ合命令

【学校】  
字形を整えて、つりあいよく書きましょう。



三さん画。四四画目は内側に向ける。  
五五画目は最大幅で上にそらす。

漢字の外形を見て、正しく整えて書きましょう。

[2月7日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名	見	来		
段・級	学	週		
学年	会	、		
六	議	学校		
名前	事	の		
増田 新	堂	社会		
	へ	科		
	行			

支部名	が	冬		
段・級	ふ	の		
学年	た	夜		
五	つ	、		
名前	オリ	目		
河野	オ	を		
さくら	リ	引		
	オ	く		
	ン	の		
	座			
	で			
	す			



戈(ほこづくり)の形と画の長短に注意

科

点の位置と方向に注意  
(筆順)

斗

とめ (許容)

学

中心を考えて整えて書きましょう。

『社会科見学』  
筆順にしたがって、正しく整えて書きましょう。

座

坐は中心より右側に

持

一対一の所で交わる  
たて画は横画の長く

夜

左右の払いを一対で最大幅に  
えましょう。

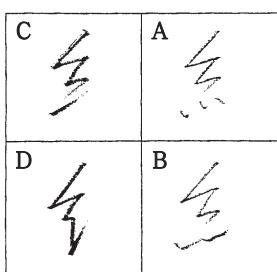
『オリオン座』  
文字の組み立て方に注意して、字形を整えましょう。

[2月7日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生(行書)

中学生(楷書)

支部名	二十一世紀の今日において 国際的な会議では、英語が重要 な役割を果たす場合が多い。		
段・級			
学年			
中二			
名前	藤村華子		
藤村華子			



・行書のワンポイントアドバイス  
糸への行書の変化を  
A→B→C→Dの順に書いてみました。  
いろいろな「糸へん」の形を覚えてください。

支部名	二十一世紀の今日において 国際的な会議では、英語が重要 な役割を果たす場合が多い。		
段・級			
学年			
中二			
名前	藤村華子		
藤村華子			

『国際的な会議』  
(漢字を整えて、字配り良く書きましょう。  
(漢字はひらながより少し大きめに書く))

要 約  
(筆順)  
「西」はへん平にして小さく  
「西」にしない  
下の「夕」を大きく  
下の「夕」は上の「夕」より立てる  
丸みをもたせる  
許容 糸はね 糸 方向筆順  
とめ

# これからのお作品締切日と課題

令和2年3月号の作品締切日と毛筆課題

小 5

さ	が
せ	春
ま	こ
す	の
。	季
と	節
ず	は
れ	、
を	梅
感	の
じ	花

幼・小 1

さ	げ
つ	ん
を	気
し	に
た	あ
。	い

3月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

中学生 (全学年共通)	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	幼・ 小 1	締切日
尽最 く善 すを	卒業式	公式戦	信念	科学	テレビ	もけい	み 3月9日 3月

小 2

然	三
記	大
念	福
物	島
で	の
す	県
。	の
で	一
つ	つ
。	三
で	春
国	滝
の	の
天	桜
は、	は、

小 3

今	日
と	公
さ	園
ん	ま
ぼ	で
を	犬
し	
ま	
し	
た	

中学生

「雪月花の時、最も君を憶ふ」と
いう白楽天の語句は、日本の詩歌
に大きな影響を与えた。

小 4

を	ん
し	な
ま	放
で	ま
し	課
た	サ
。	後
カ	、
।	友
の	だ
練	ち
と	み



## ◎ 競書出品の際してのお願い ◎

最近、課題違反作品を多くみかけます。  
事務所に作品を発送くださる前に、再度以下の点についてご確認をお願い致します。

○学年の課題を書いているか？

○その月の課題を書いているか？

○出品券の貼り間違いがないか？

# 書きを知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科長・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「明解・書写教育」などがあります。

どちらの筆順が正しいでしょうか。



これを検証する手立てとして有効なのが、つづけて書いてみることです。



これを見て頂くと判るように①を一筆書きのようにつづけて書いてみると、なんと「弓」のつづけ字の字形と似てしまうのです。つづけ字が世の中で主流であった時代には、判別がつきにくくなることはとても困る要因でした。しかし、②の方は、いくらつづけたとしても他の字とあまり類似することなく「方」と読むことができます。ゆえに②の筆順を正しいものとしたのは他の文字と読み違うことを防ぐための知恵だったと考えられます。

「方」の正しいとする筆順の根拠について推定できるものがもう一つあります。それは、「篆書

## 第35回 小学校での学習漢字・筆順「方・万」

の字形を書く時に生まれた」ともいえることです。篆書ですと楷書体の時の「上の点」と「縦に伸びる画」が一体化していますが、楷書でいうところの三画目と四画目の筆順の関係が篆書では、よりはっきりと判ります。また草書体を

書く時の筆順でも同様なことが言えます。「方」

の筆順は古い時代の書体である篆書・草書の「方」の書き方から派生し、楷書や行書の時代でも同様に受け継がれているというとさらに説得力が増します。



つまり楷書や行書の「方」の正しい筆順は、古い時代の書体の書き方からと、使用過程での知恵からの両面から定着していったものと言えると考えます。

同じく「万」も誤りやすい筆順の漢字ですが、「万」は、「方」の字形から一画目の「点」を取りただけですので、「同じ形は同じ筆順の原則」から定まったものと考えます。

(つづく)

# 今月のホープ

小一 安川葉純（治田書支部）



中三 鎌形ひかり（楓雪支部）

切れ味鋭く、シャープな線が美しい作。点画のバランスもよく、まとまりある構成です。名前もよく調和しています。

支部名	矢巾	皮・筆	發射	は、	今度の	新	型	ロケッ
学年	特待		されると	通	度の	行	ト	ト
氏名	六		聞く。	信	の	口		
支部名	松本早紀							

小六 松本早紀（矢巾支部）



元気にあふれしっかりとした線で、筆づかいもきちんとでき、美しくすばらしい作品になりました。

小四 五十嵐萌衣（栄石書支部）

支部名	栄石	皮・筆	役	質	温
学年	四		目	が	泉
氏名	五十嵐萌衣		を	・	に
支部名			して	い	ふく

中心の整った美しい字形。余裕を感じる迷いのない運筆。見事な作品に魅了されました。

基本の点画を守り、文字を観察する力を感じます。余白が美しく、品格のある立派な作品となりました。

3月号毛筆参考手本（予告）3月9日締め切り分

毛筆参考手本

幼・1年

3年

5年

中学

小二  
えがわはると  
**ムリズ**

小二  
山田ゆり  
**いもけ**

2年

小一  
あやまみか  
**み**

小四  
二木洋  
**緑茶**

小四  
伊藤芽衣  
**科学**

4年

小一  
あやまみか  
**まれ**

小三  
坂本光昭  
**ビテレ**

3年

小五  
山上光代  
**信念**

中一  
田中小春  
**卒業式**

小六  
林歩  
**地世界**

小六  
山田太郎  
**戦公式**

6年

小五  
山田大地  
**よ花だ**

中二  
田山太郎  
**最善を尽くす**

中二  
秦志功  
**万里長城**

中三  
内田幸枝  
しばらくは  
花の上なる  
月夜かな

○令和2年2月5日から11日まで東京都美術館で第71回全国学生書道展が開催されます。好評だった席上揮毫に加えて今回は2回ワークショップが行われます。席上揮毫は9日10時から。ワークショップは8日・11日、10時半から12時の予定です。皆さんの参加をお待ちしております。

(菜園)

○お正月の行事のひとつ「書き初め」。書き初めの由来は、平安時代の宮中で吉書初め（きしょぞめ）として行われていた行為が、江戸時代になり一般庶民が勉強する場であった寺子屋を通して、次第に全国各地へと広まつていったようです。古来の吉書初めは、元旦を迎える初めで汲んだ水=若水で磨つた墨を使い、恵方を向いて詩歌を書いていたと伝えられています。そして、正しい書き初めの日は正月の1月2日です。1月2日は「事始め」と言われる日であり、この日に始めると何事も上達が早く長続きすると言われています。

2月は「事始め」と言われる日であり、この日に始めると何事も上達が早く長続きすると言われています。

○令和2年2月5日から11日まで東京都美術館で第71回全国学生書道展が開催されます。好評だった席上揮毫に加えて今回は2回ワークショップが行われます。席上揮毫は9日10時から。ワークショップは8日・11日、10時半から12時の予定です。皆さんの参

加をお待ちしております。